



お元気ですか! 志村 たかよし です

介護保険

国民健康保険

後期高齢者医療保険

4月から保険料が次々と引き上げに

介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療保険の各保険料を引き上げる条例が第一回定例会で提案されました。日本共産党は反対しましたが、4月からの引き上げが決まりました。

介護保険

基準額で年1万2千円増

介護保険料の基準額で比較すると、これまでの月額4260円が、5260円へ千円引き上げられ、年間で1万2



千円もの引き上げになります。区は、国に対し介護保険制度の抜本的な改善を求めるとともに、区としてもさらなる保険料の軽減策をはかることが求められています。

国民健康保険

保険料滞納世帯は33%

国民健康保険には、自営業者や年金生活の方、また失業された方などが多く加入しています。

保険料が連続して値上げされてきているため、中央区で保険料が払えず滞納している世帯は、10年度で7263世帯と被保険者世帯の33%にもぼついています。

そして、また今回の保険料の引き上げです。

基礎数値と比較すると、13万9069円が14万2685円へと3616円の増となります。

保険料が高くなる大本には国庫負担の削減があります。

区は、国に対し、国庫負担の増額を求めると同時に、保険料を引き下げるために努力すべきです。

後期高齢者医療保険

高齢者を差別する医療制度

後期高齢者医療保険料の引き上げ額は、次のように収入等によって違いがあります。

(例)

★単身で年収173万円の方

2300円増

★単身で211万円の方

5200円増

★夫192万円

妻79万円の場合

4200円増

★夫200万円

妻200万円の場合

9400円増

となっております。

後期高齢者医療制度は、06年に自民公明連立政権が導入したもので、75歳という年齢で差別する世界に類のない最悪の医療制度です。

民主党政権は「後期高齢者医療制度は廃止」という公約を掲げましたが、いま公約を踏みにじつています。

長年社会に貢献してきた高齢者に苦しみを強いる「人道」に反した制度は一刻も早く廃止すべきです。

中学校における武道の必修化

全生徒への柔道の強制は重大事故につながる



来年度から全国の中学校で武道（柔道やすもうなど）の授業が必修化されることとなります。

武道必修化は06年に改悪された教育基本法を受けて、文部科学省が進めてきたものですが、柔道で、重大事故が続いているため、全国的にも保護者や学校現場から不安

の声があがっています。

日本スポーツ振興センターの調査によると過去28年間で、柔道で

114人が死亡し、275人が重い障害を負う事故が続いています。

また、最近10年間の中学校部活動における死亡確率も柔道が飛び抜けて高いことが判明しています。

新聞報道でも心配の声があがっています



3月16日の東京新聞（上写真）は、武道必修化について「柔道先生も逃げ腰」「愛国心教育の延長？」との見出しをつけて報道しました。記事では、思想家で合気道師範の内田樹氏の「そもそも、愛国心や礼儀を身につけるために武道を学ぶという発想が、あまりに武道をなめている」「わずかな講習で指導者を速成できるという考えが非情に危険」との声を紹介しています。

事故の温床に指導者の姿勢が

柔道でこうした重大事故がなくなるという理由の一つに、安全配慮に欠けた指導者の姿勢があります。

重大事故に多い頭部の損傷は、頭を直接打たなくても、脳がはげしく揺さぶられることで起きる「加速損傷」と呼ばれるものがあります。これまで指導者の多くはそうした認識がなく、起きた場合の対処法も知らないままでした。

さらに、指導や練習という名のもとでまかり通ってきた体罰やしごき、いじめなども事故の温床になっています。

また、ふざけて技をかけて事故を起こせば、子どもが被害者だけでなく、加害者になる可能性もあります。

「乱取りは行わない」と教育長

私は、29日の本会議質問で「文



科省が安全対策を確立していない状況で、地域によっては乱取りを禁止し

たり、ヘッドギアなどを配備する独自の対策をとる動きも出ている。中央区ではどのような安全対策をとろうとしているのか」「武道必修化の延期をふくめ、安全の確保を最優先に考えるべきではないか」と質問したところ、教育長は「受け身と基本技を中心に乱取りは行わない」「専門家を招いての体育科教員向け指導者講習会等を行う」「種目別指導員を配置し指導体制を整える」と答えました。

生徒自身が希望して習う部活動はもとより、強制的に習わさせられる授業で、ケガや死亡事故を絶対に起こしてはなりません。

体育教員が自信を持って授業ができるの状況なのか。区にその危機感が感じられないのが心配です。

「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(03-6366-0300)

ブログもごらんください

志村たかよしワールド

検索